

## 事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 30年3月30日

2次評価日（課長等） 30年3月30日

1 事業名	災害支援事業	コード	91305
-------	--------	-----	-------

2 担当部課	部等 総務部	課等 危機管理室	作成者 小林 隆志
--------	--------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政策	安全・安心な暮らしの確保	施策	危機・防災・減災対策の推進
		予算科目	災害支援事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	東日本大震災の被災地への復興支援		
目的	対象者	被災地住民	
	意図	被災地の早期復興等	

5 事業の実施内容	*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
1 東日本大震災の被災地に対する復興支援	<p>(1) 年間を通じて、建築技師及び土木技師の計2人を宮城県塩竈市へ派遣し、被災地の早期復興のための支援を行った。</p> <p>(2) 福島県からの避難者の受け入れを行った。</p>		
前年度の課題への対応	なし。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	派遣職員延べ日数			単位	人
実績値	732	730	730		
*指標の説明	派遣職員延べ人数				
② 成果指標（指標名）	派遣職員延べ人数			単位	人
目標値	732	730	730	0	
実績値	732	784	730		
達成度	100.0%	107.4%	100.0%		
*指標の説明	派遣職員延べ人数				
*目標値の設定方法の説明	塩竈市への職員の派遣は平成29年度にて終了。				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	2,772,700	4,959,850	2,224,377	0
経常経費	0	0	0	0
臨時的経費	2,772,700	4,959,850	2,224,377	0
* 臨時的経費の説明	東日本大震災及び熊本地震による被災地支援			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	1,200,000	2,400,000	2,400,000	80,000
正規職員の人数(人)	0.15	0.30	0.30	0.01
③ 合計コスト(①+②)	3,972,700	7,359,850	4,624,377	80,000
前年度比		185.3%	62.8%	1.7%
財源				
一般財源	3,972,700	7,359,850	4,624,377	80,000
内訳				
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	1,639	3,288	3,288	
前年度比		200.5%	100.0%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 93.1%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 100.0%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 災害現場及び被災地のニーズ等の早期情報把握。	
	改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 災害等が発生した場合は、積極的に多角的で多方面からの情報入手に努めるとともに冷静に状況を見極めた判断をすること。特に、庁内の他部署が関わる自治体等の情報も入手する。 東日本大震災による宮城県塩竈市への職員派遣は、平成29年度をもって終了としたが、今後の復興状況などの把握に努める。
		改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---